

## 委員からの意見及び質疑に対する応答

令和5年度 第2回スポーツ振興協議会 令和6年3月21日(木)

発言者	内容
スポーツ振興課	事務局から【2 令和5年度 スポーツ振興課事業実施報告】について資料に基づき説明
委員	質疑なし
スポーツ振興課	事務局から【3 令和6年度 スポーツ振興課事業実施計画】について資料に基づき説明
委員	令和5年度の実績で聞き忘れてしまったのでお聞きします。 川越広場のトイレ2基が撤去されたが、なぜ撤去されたか。
スポーツ振興課	本来、河川敷においては、増水時にすぐにどかせることができるよう、固定してはいけないうこととなっている。ところが、川越広場のトイレ2基は基礎が打たれてその上にコンクリートが敷かれ動かすことができない状態となっておりました。占用許可の更新時に国土交通省から撤去するよう指導を受けたことから、撤去を実施いたしました。
委員	元々、試験運用ということで許可がされていたと思われませんが、占用の期間が切れたということでしょうか。
スポーツ振興課	過去の占用許可の書類を確認したのですが、図面を見るとボルトで絞めて固定し、緊急時には動かすことができるようになっていました。しかし、実際は固定され、動かすことができない状態となっており、図面と異なっておりましたので、国土交通省の指導に従い撤去いたしました。また、大井川緑地に既存の仮設トイレですら、緊急時に本当に動かせるのかと国土交通省から指摘を受けておりますので、新たな仮設トイレの設置についても見送ることとし、何とか占用許可をいただきました。
委員	令和6年度の島田・ゆめみらいパークの指定管理料が0円から8,000,000円になっているが、これは何か特別なことをゆめみらいパークでやっていくということでしょうか。
スポーツ振興課	令和3年度から令和5年度の指定管理料0円につきましては、現在の指定管理者である静岡ビル保善のゆめみらいパークと田代温泉を一体で管理し、温泉経営及びゆめみらいパークにおける事業収入でペイできるという提案をいただいたことから0円となっております。ですが、更新に際しまして、やはり人件費や光熱水費の高騰により、0円ではということになり、こちら調査等のうえ、年間8,000,000円、5年間で40,000,000円の債務負担を組み、令和6年度以降管理することになっております。

発言者	内容
委員	<p>・プール開放事業の中で、2校廃校という形なんですかね。その中で、島五小は今年も使えないということなんですけれども、その廃校する2校の実績者数というものはどうなのでしょう。その人たちは別のプールを利用しないといけないということなのでしょう。それとも、この2校は利用者がいれば、開放することなのでしょう。</p> <p>・ローズアリーナの駐車場について  雨の日は特に駐車場の白線が見えづらい  照明も暗い  メンテナンスの実施について(問い合わせ先)</p>
スポーツ振興課	<p>廃校となる2校については、島一小に統合となりますので、島一小を利用いただくこととなります。このプール開放事業につきましては、夏休み期間に実施をさせていただいているのですが、小学校の体育の授業から引き続き実施することで維持経費を節約しています。神座小と伊太小については、廃校となり、体育の授業が実施されませんので、プール開放事業のみで実施すると水の入れ替えや薬品の観点から費用対効果がよろしくないことから、廃校する2校のプール開放は考えておりません。</p>
委員	<p>それに対しての地域や学校へ対しての了解みたいなのは大丈夫でしょうか。</p>
スポーツ振興課	<p>プール開放事業は、「学校の授業で使用した後に、そのプールを活用して実施する」ということになっておりましたので、廃校となりますと設備自体のメンテナンスもされなくなりまして、それをプール開放事業のみでとなりますと、高額な費用がかかります。</p>
委員	<p>そのような回答でよろしいですかね。</p> <p>私は、水泳の関係なものですから、何かあったときに聞かれることがあるものですから。聞かれた場合は、市の方に聞くようにしてもらってもよろしいでしょうか。</p>
スポーツ振興課	<p>大丈夫です。</p>
委員	<p>ローズアリーナの第1駐車場は、たくさんの車が入り出りするのですが、特に雨天時に線が見えません。明かりも欲しいのですが、そういったことに関しては市のどこが担当しているのでしょうか。</p>
スポーツ振興課	<p>ローズアリーナの駐車場につきましては、公園設備となりまして、建設課の公園係が管理しております。維持管理は、指定管理の中で行っておりますけれども、今あった要望につきましては、担当課に伝えさせていただきます。</p>

発言者	内容
委員	<p>そういったことをよく見ていただくことと、メンテナンスは、どのようにやっていくのか等を計画して、予算措置していかないといけないと思います。</p> <p>特に安全的に問題なんです。必ず一方通行化して、ルール化してるはずですよ。そういったことも含めて、安全といった面でどのようにメンテナンスしていくのか、それに対してのどのようにチェックをしているのか。言われたらやるということでもいいのか。その辺を管理者と確認してほしい。私も会合等で聞かれることがあり、ローズアリーナで聞くと、それはうちではないと言われてしまったりするので。</p>
委員	<p>島五小のプールが使用できないとのことですが、体育の授業なんかでは一切使わないということでしょうか。</p>
スポーツ振興課	<p>来年度におきましては、スクールバスを活用して、ローズアリーナで体育の授業を実施するという計画していると聞いています。</p>
委員	<p>ということは、島五小のプールは直す予定はないということでしょうか。</p>
スポーツ振興課	<p>島五小は、漏水箇所が不明であり、一度直ったとなつては、また漏水するといった状況が繰り返されています。そうなりますと、作り直すということになりますが、大規模な予算となりますので。</p>
委員	<p>島五小は前例であって、今後、その他の学校プールのメンテナンス等にコストがかかってきます。これからプールがなくなっていくのではないかと非常に心配をしています。近い将来、プールはローズアリーナにしかないとなると、ローズアリーナも本当にメンテナンスしていくのかという話になります。水泳だけの話ではなく、今後、どの団体においても施設に対するメンテナンスの予算が必要になりますが、そういったことが計画の中にないです。中長期的な計画が必要ではないかと私は思います。来年はいいですけど、10年後どうなるの。少子化も進むと思いますが、そういった状況でどこまで市の財政でメンテナンスしていくかということをおある程度ビジョンを示す必要があると思います。せっかくこういった会議を設けているので、将来ビジョンの話もした方が良くと思います。</p>
委員	<p>島田球場もトイレの排水の問題を聞いてはいるのですが、やはり定期的にメンテナンスしていかないと最終的には全部作り直す形にはなると思いますので、ぜひまた検討事項としていただきたいと思います。</p>
委員	<p>・令和6年度の「親子でランポウーク」、「スポ婚ふらば〜る」に非常に興味がありまして、スポーツ実施率を年代別に見ると20代から40代の働き盛りの人たちが中々スポーツをやる機会がないということで、とても興味がある取組なので、もう少し詳しくおしえていただけますか。</p>

発言者	内容
委員	<p>それにつきましては、スポーツ推進委員会の委員長をしておりますので、私から説明をさせていただきます。</p> <p>トランポウォークについては、ある程度市内に広がって、協会も立ち上がって形ができてきたので、もう少し種類を変えてやっていこうという目的で、令和6年度はトランポウォークをやっていくということになりました。スポ婚ふらば～は、婚活というイメージもあるんですが、スポーツを若い人にやってもらって、その中で合う人、楽しめる人たちがいればスポーツをやりながら結婚までいってくれればいいなとは思いますが、基本的にはスポーツということ考えています。先日、東海大会において発表がされましたが、浜松市や掛川市がこのような取り組みをやっていて、あんまり極端に「婚活」ということを出しすぎてしまうと、スポーツ事業ではなくなってしまうので、基本的にはスポーツを楽しみながら婚活も合わせるといった形で、今年初めて11月から12月の頭くらいでやることになりました。</p>
スポーツ振興課	事務局から【4 中学生を主体とした新たな地域クラブ活動について】について資料に基づき説明
委員	<p>・ソフトボール協会ですけれども、今年、中学生による女子のソフトボールチームが島田市の方に登録があったんですけれども、チームといっても2人なので、現実的には動ける話ではないんですけれども、たまたま、大人の女子チームがあるものですから、そこで面倒を見たらどうかという話をさせていただいております。ただ、ネックになるところがやはり怪我をしたときはどうするのか、責任の度合いだとか、そういったことがどうしてもネックになります。今、こうした形で地域クラブ活動に関して協議をしているのでしたら、また情報をいただきたいですし、ソフトボール競技自体が、日本ソフトボール協会による指導者を置く制度があります。指導者が資格を持っていないと、例えば県大会に出れないとか、もうトータルで、ソフトボール全体に渡って知識を習得したものが指導者になっていて教えるノウハウを持っているものですから、そこが繋がるような動きが照ればいいかと、今考えている最中なので、またご協力いただければと思います。</p>

発言者	内容
委員	<p>私はバレーボール協会です。バレーボールは今は、子供たちがクラブへ登録するのか、学校(部活動)へ登録するのか、どちらかに行く形になっている。その形をとるとクラブに登録する子供たちはクラブに行って、中体連も今はクラブも参加を始めているので、すごく微妙なところになっている。先ほど説明にあったジュニアスポーツクラブで小学生二十数名を指導しているんですけども、子供たちは基本的にバレーを楽しんでいる。中学(部活動)へ行くと、素人より少し上手というような状態です。それで部活動は6人揃わない、3人しかいない場合は、他とくっつけてということもあり、それも一つの方法だと思っています。今、高校の女子のバレーボールが減ってきています。なぜかという、高校へ行くとある程度力がないと戦えないところがあって、中学生だとある程度楽しんでというところがあって、高校へ行くと辞めてしまうということがあります。これが進んでいくと運動の二極化となってしまいます。小学生もそうですけど、運動やる子とやらない子の格差がすごい。小学校から中学校へ上がって部活がなければ当然入らないし、クラブへ行く子は行くでしょうし。二極化が始まると小学校の運動もそうですけど中学校の運動も、体力的なものが落ちてしまうということが考えられると思います。</p> <p>高校も集団でやるバスケットやサッカー、野球といったものは減っていく。富士見高校は今年行っている子供たち、中部の藤枝、島田、焼津、清水のメンバーが主力です。東部ではなくて、中部の子供たちがわざわざ行って富士見高校のバレー部を支えている。そういうことと同じように、この間、浜松市の修学社という高校がベスト8に入ったのですが、あの子たちも中学で優勝した修学社中学のメンバーを入れている。強くするために私学がそういった形で入ってくる。例えば、ジュビロのようなプロがクラブ化を進めていく。そういうところだけでスポーツが成り立っていくといった方向に行くのではないかと考えています。</p> <p>運動の二極化というところと運動をやる機会がなくなってしまうということが悲しいことで、私は個人的に市のバレーボール協会を持っているので、楽しんでやってもらえるということが重要なので。上に行く人たちは行き場があるので、そこへ行ってくれれば良いと思っているので、そうではない普通の人たちの場をどのように作れるかということが一番重要だと思います。</p> <p>あと、島田市がやっている、子供たちが利用した場合の減免をなくしたほうが良いのではないかと。今の時代は、施設をタダで使うということはありません。当然お金を出して使っているというのが基本なので、全額とは言いませんが、半額くらいは団体が出してやっていて、そういうお金も含めてちゃんと施設(管理)の方へまわせるような考え方にしていけないと、これから地域クラブとなった時に、学校と関わっていないところが施設を使うということがあると思いますので、そういう方向へ変えていくタイミングではないかと思っています。(施設を)直すということもそうですし、電気をつけることもお金がかかっていることは事実なので、そういうのも含めてどの団体も体育館を使う時には、せめて半額くらいは払って。それは親がいるわけですから、その負担でやっていくという方向へ変えていかないといけないのではないかと。思います。</p>

発言者	内容
会長	<p>地域クラブ活動の関係で2月にも話があったんですけども、競技団体ごとに中学校の先生と話し合いを持っていただきたいというような話もありましたけれども、私は野球連盟の関係ですけれども、担当の先生にも話をし、4月から5月に話し合いを持とうということで話が進んでいるところです。当然、これから小学生が中学生になっていくわけですので、野球連盟が考えているのは、学童のチームの保護者、代表者を含めて話し合いを持っていこうかと考えています。いずれにしても、先生方の考え方を聞いてみないとクラブ化することは中々大変ではないかと思えます。野球連盟はそのような形で話し合いを持とうかというところなんです。競技団体によって中々スムーズにできるかどうかというところはあるかと思えますけれども、一歩でも前に進んでいくような形でやっていけばいいのかなと考えていますので、またその辺のところも御協力をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>教職員の方との話し合いということなんですけれども、どのように動けばいいでしょうか。個々に申し込めばいいんでしょうか。</p> <p>あと、私が気になっているのは、部活動の移行の話が出た当初では、アンケートを取った際に、教職員の方たちは部活動の移行について、あんまり賛成じゃなかったんですよね。2月21日(第2回新たな地域クラブ活動連絡協議会)での話を聞くと、これは島田地区のレベルの話だと思うんですけども、移行することに賛成という言い方がいいのか、困っているという言い方がいいのか、ということが多いという説明があったんですよね。移行している中で変化しているわけですよ。教職員の方たちの気持ちも、心配だということから、やっていくことが大変だとか。その辺のことも含めて、教育的なことの話し合いをするというそのものについては、どちらと話をするのか、両方とするのかというのがあると思うんです。どう話をするのか少し気になりました。</p>
委員	<p>そもそも技術を上げるためにやっているのかというのがあってですね、そうでなければ地域指導者が教えることができないですよ。技術を上げることはできるけれど、それ以外のことができない。今の学校教育の部活は技術を上げるためだけにやっているんですか。移行されても(技術を上げることしか)指導できないですよ。仲間内で楽しくやったりだとか、色々なことがあると思うんです。その競技で一番になりたいという子ばかりではないんですよ。そういう子は切ってしまうということでもよろしいですよ。</p>

発言者	内容
委員	<p>その辺のことも含めてですね、先ほどおっしゃった二極化という話があって、自分個人の意見としては、島田だけでやるのは危険かと思っていて、地域をもっと広げない。というのは、具体的に今、この頃大会があった時に掛川の子が遠征に来る、今度は磐田の子が遠征に来る。それはなぜかという中体連に出れなくなってしまっている子がいるんですよ。大会がないんですよ。自分の成果を発揮する場所。技術だけではなくて、その子たちが遅くても正式な大会でやりたいというのがあるんです。私は会長をやっているんですけども、島田は会長の一存で可能なものですから、出場してもいいよとなるんですけども、これから先、どんどん二極化していった時にそういう子たちが落ちこぼれてしまうんです。大会を開いてあげないと。その時に島田だけでやっていると大会が成り立たないんです。志太地区では(水泳部が)二中しかないんです。吉田中は来年もうなくなるそうです。どんどん大会をやる場所がなくなってきて、噂を聞いて(島田の大会に)出てもいいかときっとなると思います。いいですよとなった時に、それが先生に聞いた時に、いつから地域クラブに移行するの。今は顧問がいるからいいんです。でも近い将来、地域クラブになったら、誰のところに言ったら伝えられるか。水泳で言ったら、色々なところが有料でやっているところがありますよね。サッカーなんかでもありますが、そこへ行こうとなってしまう。今は色々な形になっているものですから、具体的に言うと中体連に出るのには、例えばチャンピオンで練習しているけれども、島二中の部活動に入っている子というのがありますよね。私の想像ですけども、人数制限があるものですから、チャンピオンで出る子、島田二中で出る子というようにして、できるだけ多くの子に中体連に選別して出してもらうようにするんですけども、遅くて出られない子がたくさんいます。ですので、自分はそういった子を拾ってあげようと、募集はしませんけれども(島田の大会は出れるという)噂を流すような形にしています。そうすると藤枝や焼津からもいっしょにやると話があるんですけども、色々あるものですから。島田だけでこの話をしても近い将来困るような…。もっと言うと島田だけで指導者をと言ってやってもできないではないかと。県はどうなっているのかと、私はいつも言うんですけども、県の単位だとかそういうレベルで色々な人を養成する機構をつくっていくような方向にしないと駄目な気がします。指導者も私みたいな年寄りが、何かあった時に1年や2年やることができても、10年先を考えた時には、指導者を育てていけないといけないし、最終的にはさっきおっしゃったようにもうそっちの形(技術を上げる)の方向でしかやれないというか、スポーツを楽しんでやるという場がなくなってしまう。スポーツを楽しむ方向のことも考えてあげなければいけないのではないかと思います。優秀な選手の表彰はすごいアピールするんですよ。それがどうだとかは言わないんですけど、それが本当に良いのかと。地域スポーツってそうなのかなと自分は疑問に思っているものですから、そっち(楽しむ)のほうを大切にあげないといけないのではないかと思います。</p>

発言者	内容
学校教育課	<p>中学生の部活動というものは、親しむ、楽しむということが第一だと思います。それを保障していく、場を提供していくということを地域のそれぞれの種目団体の方とこれから作っていかないといけない。それから様々な課題もあって、今言った大会のこともそうですし、中体連のこともそうですし、我々の地域の中には種目によっては非常に少ない人数のところもあったり。それは種目毎に違いがあって、全体で協議をしていても中々思うように進まないということもあったんですけれども、これから種目毎に推進委員会という形で、これはそれぞれが動いてしまうとバラバラになってしまい難しくなるので、市の方で組織的に場を設けたりだとかやっていきたいと思っています。またそうした話をさせていただきます。やりたいのに辞めなければならないといったことは、あってはならないことです。ただ、やはり自分の技能を伸ばしたいという子供もいるので、そういった場も民間団体も含みながら作っていきたい。そういったことをこれから課題を洗い出しながら取り組んでいきたい。現実問題、今静岡県の中では各市町で動いているものですから、まず、その中で動いて、それからやはり他市との連携することも必要であればしていかなければいけないと思っていますところ です。</p>



発言者	内容
<p>学校教育課</p>	<p>推進委員会の持ち方については、既存の部活動の人たち(教員)と各協会・連盟の人たちとで話し合うというところからスタートしていきたいので、例えば水泳部であれば、島二中の水泳部の顧問と管理職と水泳協会の方とで話し合いをする場をお願いしますということでアナウンスをしていきたいと考えています。こちらから、こういったことをお願いしますとアナウンスしまうので、そちらで動いていただければと思います。</p> <p>あと、部活動の目的のところでですね、先ほど、勝利主義で強くするだけであつたら、中々、地域の人に任されても困るという話ですけれども、部活動の目的がそのスポーツや文化的な活動を通して、人間形成等があつたんですけれども、教員の働き方改革もあつたりして、段々と部活動を学校から離しましょうという流れになっていて。教育的なことを地域の方に任せられるのかというのは議論にはなっているところです。島田市のアンケートを見てみると、専門的なレベルを上げたいという子供もいるんですけれども、島田市だけでなく全国的にもですけれども、楽しく活動したいとか、友達とやってみたいとか、スポーツに触れたい、文化的活動に触れたいという子供が多くて、少しスポーツに対する考え方が変わってきていて、生涯型というんでしょうか、みんなができるような場所が島田市にあるといいなと思っています。それが教員だけでは無理なので、教員ももちろん協力していきますけど、地域の方や連盟や協会の方たちの協力を仰いで、どのような形であれば活動する機会や場所を確保できるのだろうかということ、令和6年から令和8年くらいまでには話し合いを進めて具体的なものをつくっていきたいです。最終的には、ゴールとしては、令和9年度の夏までにはそういった機会が色々な種目毎にできているような形をとりたいと計画しています。</p> <p>あと、島田市だけではできないというのは、この前、県の会合に行っても同じようなことを言っておりました。特に少ない種目については、市町毎に考えていてもできないということはどこでも出ていた話ですので、おっしゃっていたことはそのとおりだと思いました。藤枝、焼津とも情報交換しながらやっていきたいと思っています。島田市では、水泳な苦手な子供でも出れるような大会を用意していただけるようであれば、こんな素晴らしいことはないので、島田市ではそういったこともやっていけるということをアナウンスして、そういう機会が島田市にはあるということアピールできればと思うので、そういったことも含めて教員とも話をしていただければ大変ありがたいと思っております。</p> <p>貴重な意見をありがとうございます。</p>

発言者	内容
委員	<p>学校の部活動で私たちがやってきたのは、やはり強くなりたいという思いでやってきましたよね、私はやってきたんですけど、地域クラブの目標、運動を好きにやるとか、楽しくやろうとか、大人になってもスポーツを続けていきたいという子供たちを育てないと私は思うんですけど、でも、その中にはいじめがあったり色々な問題があって、学校の中でもあると思うのですけれども、それが地域に行った時にそこをどうやって指導者が見るのかということが少し心配です。</p> <p>それから、もし怪我があった時の保障。学校であればスポーツ振興センターの保険があるので補ってもらえるんですけど、地域クラブになった時にそれはどのようなになるのか。それと指導者がどのような考え方でやるのかというのがすごく大事だと思います。指導者の育成のようなものができるの良いと思います。ただ、「私はやったことがあるからやるよ」ではなく、そこには大事なところがあると思います。そういったところも考えながら指導者を作っていくとまずいのではないかと思います。私は、楽しくやって大人になっても続けてくれるという子供を育てないと思うけれども、上には全国大会あり、優勝をめざすわけじゃないですか。そういうことを地域クラブ活動に趣を置いてしまうと違うのかなと思いますけど、スポーツをやっている人間にとっては、やはり勝ちたいというのはあります。そこら辺をどのように育てていったらいいのかと。その辺をすごく考えていかないととても大変だと思います。</p>

発言者	内容
学校教育課	<p>そこが大きな課題になっているところでして、この地域クラブが全てが生涯型ではなくていいと思います。例えば、ここの地域クラブはみんなで楽しくやる、回数も少なくするというクラブができて良いですし、ここは勝つことを目的とする活動をやりますよという、野球であればAとBがあるという感じで、そういうのも一つ選択としてできるかなと思います。みんながみんな、生涯型ではなくても良いかと思いますし、あとは、既存のクラブがあるのであれば、勝ちたいという希望があるのであれば、それは止められないので、島田市ではなくてもお金を払ってそこで活躍してもらおうというのも一つの選択だと思っています。怪我については、部活動は、学校管理下において、スポーツ振興センターの保険が使えますが、部活動でなくなるとそれは使えなくなるので、そうすると保険代はどうするのかとなると、私たちは今、それは受益者負担であろうと考えています。参加する人がきちんとお金を払って。先ほどお話がありました、減免について、子供であろうがなかろうが、何かをするに当たっては費用が掛かるので、お金を取るべきだというお考えがありました、それに少し似ているかもしれませんが、地域クラブだからお金を取らない、何故かという今まで部活動ではお金を取らなかったから。このお金を取らなかったことで、教員側の問題も出てきているわけです。タダ働きとされてしまっていて、オーバーワークとなってしまうと、教員の成り手が少なくなっているという、教育の分野も疲弊しているということもあるものですから、やはりお金については、基本的には参加する人が払うということで、保険についても同じ対応で考えていきたいと思っています。いじめ等の対応については、ここも難しいのですが、逆にエスパルスやジュビロだったらどのようにいじめ等に対応しているのかということや学んでいかなければならないと思っています。学校の教員でない者が指導者になった場合に生徒指導や保護者の対応のトラブルをどのように解決していくのか。これは実は、学校の教員が持っているノウハウです。学校の教員は部活動で何度も経験して、いやな思いも大変な思いもして解決していることがあって。学校の教員しかもっていないノウハウで、これを令和6年度からの各団体との話し合いの中でも入れてもらいたい項目です。たとえばトラブルが起きた時に保護者にはどのように対処するか、子供には事実関係を聞くとか、そういったことは競技教えてくれる方にはもしかしたらわからないスキルかもしれないので、教員の持っているスキルも合わせて地域の方と話を共有していくと。教えたから任せてしまうのではなくて、教えて、教わってしばらくいっしょにやっていく期間があって、地域の方たちだけでもやれますかという形の話し方が良いかと思っていますので、令和6、7、8年度と猶予期間を持っているわけです。子供も親も多様化していますので、教員側もノウハウを伝えていくということも推進委員会の目的としています。</p>
委員	<p>ノウハウをもらっても、結局、教員は責任があるが、我々(地域)には責任はないからですね。ノウハウをもらったからと言って。</p>

発言者	内容
委員	<p>学校体育と社会体育をいっしょにしようとするからこういう問題が出てきていて、逆に国が地域クラブにしろさいと言うのは、もう学校の手は放して社会体育にしましょうと国は言っているのですよね。そこに、学校の考えをたくさん入れ込んでいくと、今、おっしゃったように誰が見るのとかになる。皆さんが知っているクラブチームは営利を目的としているので高かったりしますけど、格安とまでは言わないんですけど、もっと負担を小さくしないとやる子がいなくなってしまう。社会体育にしましょうと言っているのに、学校体育といっしょにしようとするからたくさん問題が出すぎているのかなと思います。</p> <p>国が考えている地域クラブの形が見えないので、モデルとかどのような形にしたいと考えているのか。ヨーロッパのようにクラブチームがたくさんあって、小学生から老人までがサッカーをやる。それぞれのカテゴリーでサッカーを楽しんでやれて、一生やっていけるようなクラブチームを作りたいと言っているのか、中学生だけ見れば良いというようなクラブを作ると言っているのかという、一番大事なところが全然形として見えないので、みんなでどのような形を作るのかが困っている。基本的には理想形でも良いので、こういう形にしたいという方針をちゃんと示せば、島田ではここまでできないけど、こういうことはできるよねというようにやっていければかなり具体的に話ができるのだろうけれど、今はそれぞれのそういう形が見えないので、それぞれの協会・連盟の実情で好き勝手なことを言っている。いつまでたってもまとまらないんだらうという気がしています。負担の問題は、先ほど受益者負担と言いましたけど、これから子供たちが少なくなってきた、その中で送り迎えの負担、費用の負担、そういうことをやっていくとスポーツをやる子がほとんどいなくなってしまうのではないかと思います。現に野球やサッカーで一つの学校でチームができないことになるのは、誰も今まで考えていないが、これから益々そうなりますよね。受益者負担と言うのは非常にわかるけれども、生涯スポーツを掲げて、スポーツ人口を増やしていくのであれば、公的な負担は考えなければならぬと思います。</p>
委員	<p>今は中学生の話ですけれども、いずれは高校になるんですよね。中学生からステップアップして高校という形も作っていかねばいけませんよ。それがなぜ話し合いに出ないのか疑問です。</p>
会長	<p>この問題について、今、結論が出るかと言ったらそういう問題ではないものですから、これからまた協議会もありますので、ご意見等を事務局にも出していただいで、一つでも課題点を解決していくという形を取っていけばよいのかと思います。それと今、おっしゃったように県や国がどのような方針であるかというところもフィードバックしていただければと思います。</p> <p>時間も参りましたので、この件については、これで終了させていただきます。全体を通して、何かご意見があれば伺いたいと思います。</p>
スポーツ振興課	<p>施設の減免等につきましては、今年度、行政総務課でスポーツ施設だけでなく、文化施設、公民館施設も含めて減免等の状況調査をして、令和6年度において、市としての減免等についての在り方の方針を出すということとなっておりますので、その中で判断してまいりたいと思います。</p>

発言者	内容
会長	<p>そのほか何かございますか。 ないようでしたら終わりたいと思います。 地域クラブ活動については、色々細かい点でも問題があるかと思しますので、これからそういった点を協議する場があると思しますので、ぜひ活発な意見を出していただきたいと思ひます。 色々なご意見をいただきましたけれども、今後の活動に活かしていきたいと思ひます。ありがとうございました。</p>
	(会議終了)